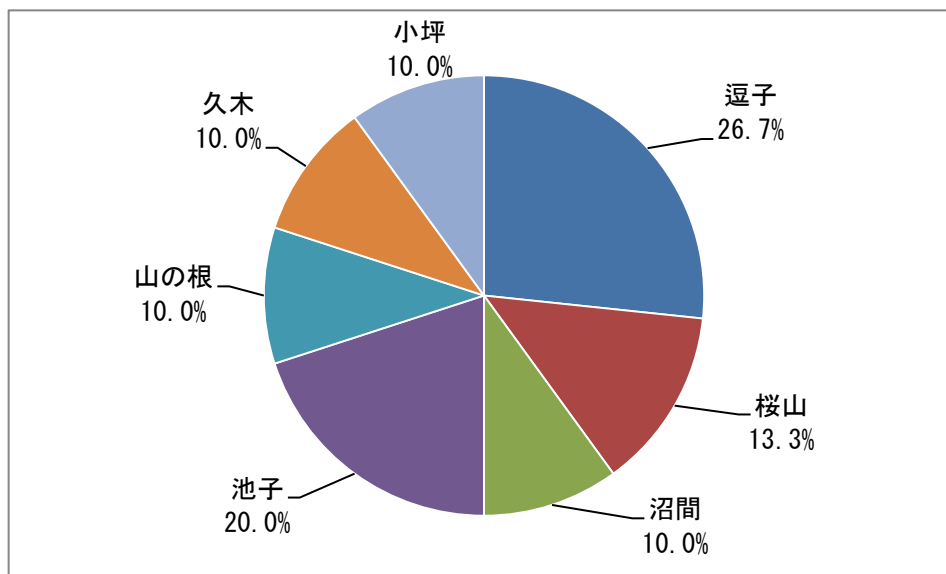


第12回 逗子の未来協議会 アンケート結果

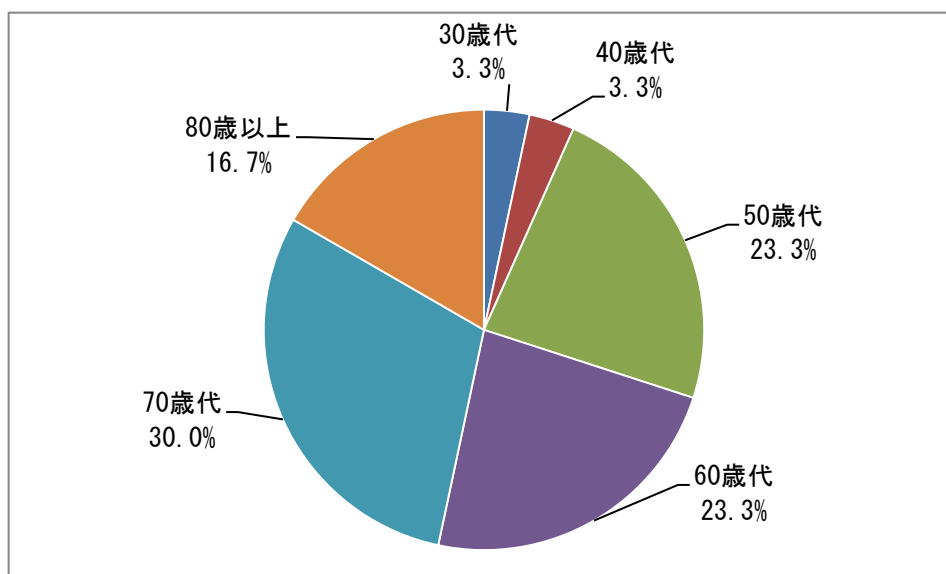
実施日：平成29年11月12日（日）

回収数：30（回収率90.9%）

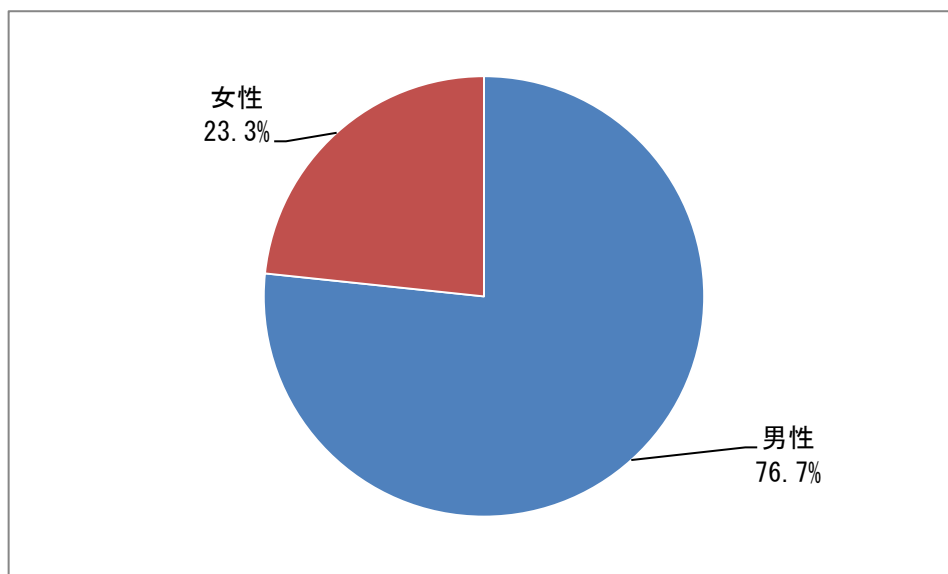
1 第12回参加者の居住地



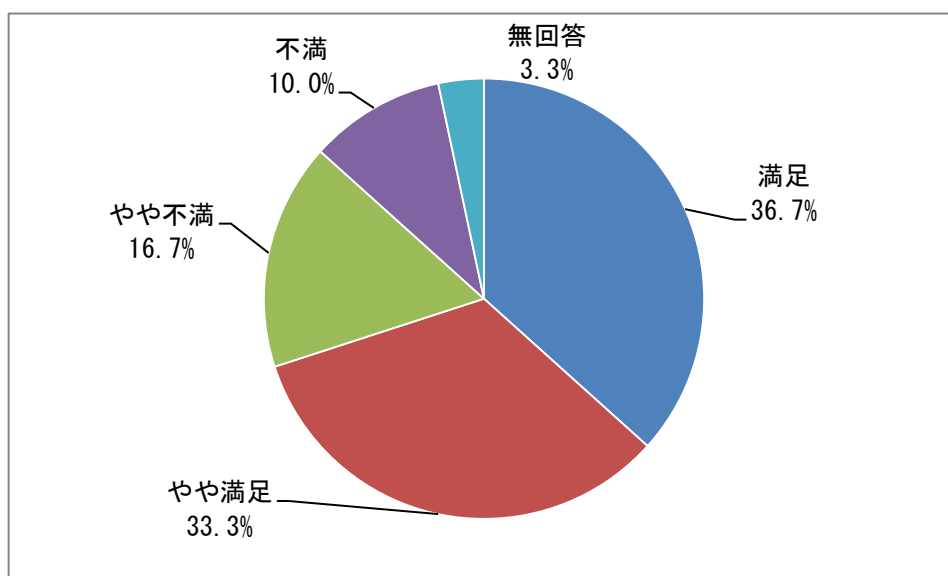
2 第12回参加者の年代



3 第12回参加者の性別



4 第12回の感想



【「1. 満足」を選択した理由】

- ◆ 市民と市職員の忌憚ない対話ができる。
- ◆ 話し合いをして満足できました。
- ◆ 市役所の職員の方々のリーダーシップが大事だということが分かりました。
- ◆ いろいろな意見があった。高齢者が逗子ですずっと働く、収入がある。未来の楽しいことを話すと、とても盛り上がった。自分自身に対してですが、話したことを実行したいと思う。
- ◆ 回ごとに発信が多くなっている。これからはもっと参加者を増していくべきだと

思う。

- ◆ 良かったと思う。
- ◆ 活発な意見交換ができ、同グループに提案力が強い方がおられ、非常に勉強になりました。逗子市が“いい市”に発展することを祈ります。
- ◆ 質の高い意見交換ができた。今の逗子市の問題は、職員個人の問題より組織のマネジメント力が弱いことだと考えます。
- ◆ グループワークでメンバーが平等(時間、話す量)に意見を交換し合えた。
- ◆ グループ員が熱心に自分の意見・感想を述べる等有意義な時間であった。また、市の福本次長もグループ討議に助言してくれるなど熱意が伝わった。
- ◆ 財政危機等逗子のことを考える機会を得たことは大きかった。
- ◆ 市政に対する事さまざまに考える方がいらして民意の高さを改めて感じた。財政危機を蘇生するためには、危機を乗り越えるノウハウを有する専門外部機関を入れ、シビアに対処していくべきという同じグループの方の発言に納得賛同いたします。

【「2. やや満足」を選択した理由】

- ◆ 前段の意見も受け止めて、議事進行も適切に行って時間内に終了できたため。
- ◆ 良い意見をたくさん聞いて参考になりました。
- ◆ かなりいろいろ参考になる良い意見が出ていた。
- ◆ 聴覚障がいへの配慮不足。要約筆記を入れてくれたら、参加しやすくなる人もいます。
- ◆ ①自由闊達な意見交換ができたこと。
②市長・職員についていろいろな意見をもつ人がいて興味深く聞くことができた。
- ◆ 司会者のテーマの紹介が不適。はじめに逗子市の市長になりたいか、次に具体的に逗子市長について聞きますと、事前にアナウンスすべきである。
- ◆ 「未来」協議会ということでしたので、数年後、数十年後の逗子についてディスカッションができればと思います。
- ◆ 未来の協議会について未来の話ができない。
- ◆ 種々意見が出たが、順次改善できるものから実行に移してほしい。

【「3. やや不満」を選択した理由】

- ◆ 百年の計 高齢化率 40%、認知症患者 5 人に 1 人、どう予防するか？示すか考えてほしい。元気な高齢者を活かす策。
- ◆ 議論は盛んだったが論点が偏って時間不足、消化不良だった。逗子の未来のため、住居侵入、窃盗などの犯罪多発の現状の解決が重要、急務だ。
- ◆ 私の職員の期待条件
 - ①広い視野、細かい配慮
 - ②順法意識の徹底(公平性、公開性など)
 - ③人間性、冷静で温かい心
 - ④正確性、情報力
 - ⑤市政への提案力

- ◆ 私の市長の期待条件
 - ①先見性、先進性、先取性
 - ②信義誠実、人道性、正義感
 - ③科学的見識
- ◆ 市議会議員を集めて中間報告会を開くべきではないか。
- ◆ 発表者がグループワークの意見を反映させていない。
- ◆ 本日も多数の方から意見を聞いたが、複数回一緒になる方が増え、同じ話の繰り返しが多かった。
- ◆ テーマに外れる発言を排除しきれず、本質的議論の時間が削られたため。

【「4. 不満」を選択した理由】

- ◆ 何が生まれたのか分からない。
- ◆ グループ討議ばかりでレビューの機会が少なく、市民協同といいながら議論の共有感がない。

5 その他の意見

- ◆ 別紙のとおり

[市長]

・自分が市長ならば、どんな市長でありたいか。

市長等（市長、副市長及び教育長）が、市民全体の奉仕者として、人格と倫理の向上に努め、その地位による影響力を不正に行使して自己又は特定の者の利益を図ることのないよう必要な事項を定めた政治倫理条例を制定する。

代表者としての自覚：市民の代表であることを自覚する。

市政運営の理念：条例の理念を生かし公正かつ誠実に市政運営を行い、その行動に責任を持たなければならない。

健全な市政運営を維持するため、自治を自覚した市民の育成に努めなければならない。

行政組織の効率化：常に行政組織機関の円滑な運営に心がける。

セクショナリズムの廃絶、必要に応じた連絡会の設置

まちづくりビジョン：市長はまちづくりの理想像を市民に示すべき。

長期展望を持って、市のあるべきビジョンを示すこと。

自治体の経営：自治体経営のトップとしての市長

縦割り行政の弊害をなくすため、市民の目線で市政全体の総合的な調整を図る。

市役所改革：組織の顔を市民に向けさせ、組織の調査・企画能力を高め、活発な職場風土を築き上げる人事運営。

責任逃れをしない・させない、たらい回しをしない・させない行政改革。

政策の評価：第三者機関を活用した行政運営と行政評価

・自分が市長ならば、自分にどんなルールを課したいか。

市があなたに何をするかを問うのではなく、あなたが市に何ができるかを自問して下さい。

市民のみなさん、市があなた方に何をするかではなく、私たちが一緒になって、共に市のために何ができるかを問うて下さい。

・どんな市長ならば、いい市長だと思うか。

大阪市 吉村洋文市長

[教育委員会]

組織の中に「教育委員会」はなく、教育総務課

[選挙管理委員会]

ホームページ上、過去の市議会議員選挙の選挙公報がつけにくい。

「立候補者一覧」ではなく、「過去の選挙結果」から見られるように改善してほしい。

[公平委員会]

公平委員会の委員がホームページで公表されていない。
過去の公平委員会の活動の履歴がない。

[監査委員]

「監査等の主な種類」において、各監査の流れとその手続きについて記載されている項目と記載されていない項目とがあり、差異が生じている。

[農業委員会及び固定資産評価審査委員会]

○農業委員会

逗子市は農業委員会が存在しないため、経済観光課が担当

○固定資産評価審査会

固定資産評価審査会の委員がホームページ上に公開されていない。

[職員]

職員が、市民全体の奉仕者として、常に良心に従い、公務に対する市民の信頼の確保と清浄で民主的な市政の発展に寄与することを目的として、職員倫理条例を制定する。

・これからの時代、職員にはどうあってほしいか。

コーディネート能力：協働事業を行っていく過程では、パートナーと意見の違いが生じるなど、必ずしもスムーズに進まないこともあります。その場合に、広い視点で意見をまとめたり、市役所内部の調整を行うコーディネート能力が必要となります。

職員の教育（資格（不動産鑑定士、マイクロソフトオフィススペシャリストなど）取得）と人材育成。

職員に対して市政の中心的な役割を認識させる。

市長は副市長や部長クラスの職員を掌握し指導する。